

2021年度 日本工学院八王子専門学校											
ミュージックアーティスト科 プレイヤーコース											
アドバンスレッスン1											
対象	2年次	開講期	前期	区分	必	種別	実習	時間数	120	単位	4
担当教員	西川進・野村大輔・堀越昭宏・満園庄太郎・藤崎昌弘・大野元毅・南慶樹・恒枝賢治・青木千春・館亜里沙			実務経験	有	職種	ミュージシャン				
授業概要											
流行しているものや個人の嗜好上にある音楽だけではなく、その背後にある多様な音楽、文化や歴史を学び、そこから音楽の持つ普遍性を見つけ出すことを学ぶ。同時に、自ら考えたコードフォーム、フレーズなどを瞬間的に発揮したインプロヴィゼーション力のスキルを取得してもらう事を目的とする。サウンドメイクや楽器奏法のテクニックも取得していく。音楽・動画・写真・デザインという幅広いアートについても学ぶ。											
到達目標											
好きな音楽のルーツや文化的な成り立ちを学習することによって既成概念にとらわれないオリジナリティーを作品に織り込めるような思考を体得する。同時に、ポップスフィールドの中でコードネームに対して音楽をより良くする適切なバックギンが出来るインプロヴィゼーション力を体得する。自分本位な演奏だけでは無く、いかに周りの音を聴きながら演奏するか、そして良い演奏を行うためのコミュニケーション能力も体得する。											
授業方法											
即興力を身につけるために、各回のテーマに沿った課題曲を時間をかけ演奏を実施する。必要に応じた講師からのフィードバックにより今後への課題を各自考察する。ヴォーカリストコースとのコラボレーションによる共創型課題も適時実施する。各楽器奏法の体得に加えて、サウンドの加工やエフェクトの使用法を解説する。実際にクライアントに求められるような内容に沿ったサウンド作品の制作をPBLベースで実践する。											
成績評価方法											
試験60%(知識及び技能のほかに思考・判断・表現を評価する)、授業内発表20%(知識及び技能のほかに思考・判断・表現を評価する)、平常点20%(主体的に学習に取り組む態度を評価する)											
履修上の注意											
専門学校は、社会人としての行動・あり方を学ぶ「職業訓練」の場であるという考え方から、他の授業・実習と同様、出席状況については厳しく評価する。また、授業中の態度(居眠り、私語など)にも厳しく対応する。卒業後の自分自身の生きる力を得るものであり、自分自身のこととして主体的な考え方をもち、積極的な姿勢で授業に参加してほしい。なお、授業時数の4分の3以上出席しない者は定期試験を受験することができない。											
教科書教材											
適時、講師より教材を配布する。											
回数	授業計画										
第1回	「課題曲1」を初見で演奏。										
第2回	「課題曲1」を予習ありで演奏。/PBLに基づいたサウンドロゴ作成。										
第3回	決められたコード進行によるインプロヴィゼーションを行う。/PBLに基づいたサウンドロゴ作成。										

2021年度 日本工学院八王子専門学校

ミュージックアーティスト科 プレイヤーコース

アドバンスレッスン1

第4回	「課題曲2」を初見で演奏。/PBLに基づいたサウンドロゴ作成。
第5回	「課題曲2」を予習ありで演奏。/PBLに基づいたサウンドロゴ作成。
第6回	決められたコード進行によるインプロヴィゼーションを行う。/PBLに基づいたサウンドロゴ作成。
第7回	「課題曲3」を初見で演奏。/PBLに基づいたサウンドロゴ作成。
第8回	「課題曲3」を予習ありで演奏。/マイクを使用した音声収録。
第9回	決められたコード進行によるインプロヴィゼーションを行う。/音声を加えたサウンドロゴ制作。
第10回	「課題曲4」を初見で演奏。/音声を加えたサウンドロゴ制作。
第11回	「課題曲4」を予習ありで演奏。/Adobe Photoshopを作品制作に活用。
第12回	決められたコード進行によるインプロヴィゼーションを行う。/Adobe Illustratorを作品制作に活用。
第13回	「課題曲5」を初見で演奏。/Adobe Premiere Proを作品制作に活用。
第14回	「課題曲5」を予習ありで演奏。/Adobe Premiere Proを作品制作に活用。
第15回	まとめ、フィードバック。/決められたコード進行によるインプロヴィゼーションを行う。